

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

子ども

対象学年・
取り扱った教科等

全学年 学活 道徳

目標・人権教育のねらい

- ・自分のもつ「権利」についての理解を深める。
- ・互いのよさやちがいを認めることの大切さを理解し、自他の人権を尊重し合う態度を培う。
- ・身の回りを振り返り、いじめや虐待等の問題を考えることから、自分も人も大切に生きる方を身に付ける。

実施した内容

- ・毎月1回「人権を確かめあう日のお話タイム」を設け、全校でテーマに即した話を聞く。
- ・話を聞いて分かったことや考えたことを各学級で話し合い（聴き合い）、ワークシートにまとめたり発表したりする。
- ・人権教育だよりに学習内容や児童の様子等を掲載し、保護者に発信する。

工夫した点

- ・児童の理解がより深まり実感を伴った学習となるよう、ICTを活用して動画や写真等を資料として準備する。
- ・ワークシートの内容については、低学年用・高学年用に分けるなど児童の実態に応じたものを作成する。
- ・話を聞くだけでなく、お話タイムの後、学級ごとに「身の回りに問題はないか、課題解決に向けて自分にできることは何か」等を考え、意見交流する時間を設定する。

他教科との
関連

道徳（「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「個性の伸長」「相互理解、寛容」）

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

障害者 高齢者

対象学年・
取り扱った教科等3年 総合的な学習の時間、
社会

目標・人権教育のねらい

- ・体験活動や当事者との出会いや交流を通して、当事者の思いを知り、共に生きていこうとする態度を培う、何が障壁になっているかを理解する。
- ・「共に生きる」という理念に基づいた地域づくりに必要な知識や技能を身に付ける。

実施した内容

- ・地区公民館を見学し、人にやさしい地域づくりに向けた施設の役割等について話を聞く。（1時間）
- ・視覚障害者や盲導犬と出会い、体験談や盲導犬の役割について話を聞く。（2時間）
- ・高齢者から昔のくらしや生活の知恵、願い等を聞き取る。（1時間）
- ・見学や体験を通じて学んだこと、課題について調べたことをまとめ交流する。（3時間）

工夫した点

- ・「ひと・こと・もの」と出会い、体験を通じた学びを大切にする。
- ・タブレットを活用して調べ学習や意見交流を行う。
- ・聴き合う活動により様々な考えに触れ、自分の考えを深めることができるようにする。

他教科との
関連

社会（私たちの橿原市）総合的な学習の時間（人にやさしいまちづくり）

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等4年 社会、総合的な学習の時間、
道徳

目標・人権教育のねらい

- ・差別のない社会をつくろうとして立ち上がった人々の生き方を知り、一人一人の人権が尊重される地域づくりに向けた実践意欲を高める。
- ・差別をなくす運動や取組について理解し、自分の生活に生かそうとする態度を培う。

実施した内容

- ・西光万吉の生涯や全国水平社運動について話し合う。（2時間）
- ・「人の世に熱あれ 人間に光あれ」（人権教育学習資料集「なかまとともに」）を読み合い、水平社宣言に込められた願いを理解し、人間を尊重するとはどういうことを考え、話し合う。（3時間）
- ・水平社博物館の方の話聞く。（1時間）※予定

工夫した点

- ・知識・理解に留まることのないよう、互いの考えを聴き合うこと（対話）を大切にし、自分の考えを深められるようにする。
- ・4年生の児童の実態に適した資料を用意する。
- ・厳しい差別の現実にもみ焦点を当てるのではなく、自分事として問題を捉え、差別をなくすために必要な態度や行動について考えることを学習のねらいとする。

他教科との
関連

- ・社会（奈良県のくらし） 総合的な学習の時間（なかまとともに）
道徳（公正、公平、社会正義）

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

アイヌの人々

対象学年・
取り扱った教科等

5年 道徳 社会

目標・人権教育のねらい

- ・先住民族としてのアイヌの人々が自然と共に、自然を生かした生活を送っていたことを理解する。
- ・アイヌの伝統文化に触れ、多様なものの見方・感じ方・考え方を肯定的に捉え、尊重し合う態度を身に付ける。

実施した内容

- ・社会科で北海道の自然環境の特色について学習し、その特色を生かしながら人々がどのように生活を送っているか調べ学習を行い、まとめたことを交流する。（2時間）
- ・アイヌの伝統文化について、人権教育資料「なかま」掲載資料やタブレットを用いて調べたり話し合ったりして、分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。（3時間）

工夫した点

- ・異なる文化との出会いが豊かなものとなるよう、タブレットの映像を活用する。
- ※アイヌの人々と関わりの深い「松浦武四郎記念館」をオンラインでつなぐ学習を考えていたが、記念館が令和3年4月から改修となり実現できなかった。

他教科との
関連

社会（自然環境の特色と生活との関連）
道徳（「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」）なかまとともに「アイヌとキツネ」

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

6年 家庭科 外国語

目標・人権教育のねらい

- ・様々な国や地域の文化に興味・関心をもたせ、異なる文化についての理解を深める。
- ・外国人と交流したり、外国について調べたりする活動を通して、世界には多様な文化があることを知り、物事を多面的にとらえ多様性を尊重できる態度を培う。

実施した内容

- ・人権教育学習資料集「なかまとともに」を用いて、世界の国々のお祝い料理を知ることから、日本の食文化との共通点や違いを知り、多文化共生について理解を深める。（1時間）
- ・様々な国の言語に触れることから、その国の人々のくらしや文化、現状に興味・関心をもち調べ学習を行い、分かったことを交流する。（2時間）

工夫した点

- ・ICT機器を活用し、写真や動画、音楽に触れながら、興味・関心や親しみがもてるよう取り組んだ。
- ・本校に在籍する外国籍児童が自分の母国の文化に誇りをもてるよう、また、まわりの児童の理解や共感を高められるように、使用する教材や資料を工夫した。

他教科との
関連

道徳（国際理解・国際親善）

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

性的指向・性自認

対象学年・
取り扱った教科等

4年 保健体育 保健指導

目標・人権教育のねらい

- ・自分と異なる意見や立場の人を大切にする態度を培い、自分を含めた社会の人々が自分らしく生きていくこと、そしてお互いを尊重することの大切さを知る。
- ・「性」に関する正しい知識を身に付け、自分らしさを大切にするとともに多様性を尊重する態度を培う。

実施した内容

- ・思春期の体の変化や気持ちの変化、性の多様性について学習する。（1時間）
- ・社会は様々な「ちがい」をもつ人で構成されていることや、からかいや何気ない言動によって人を傷つけてしまうことを理解し、一人一人を大切にするために自分たちができることは何かを考え、話し合う。（1時間）

工夫した点

- ・「異性に興味をもつ」と保健の教科書には記載してあるが、「異性」だけではないことに留意して指導した。
- ・いろいろな性があってよいことを自然なメッセージとして伝えられるよう、隠れたカリキュラムとして保健室や図書室に性の多様性に関わる絵本を置いている。

他教科との
関連

道徳（相互理解・寛容）